

いつも現場に足をはこび、住民の声を聞く 住民の苦しみに思いを寄せ 県政を動かす 日本共産党

「原発ゼロ」へ毎議会質問

- 福島を視察、宍道断層を徹底調査
- 国、電力会社に再稼働中止を要求

福島事故から8年。事故原因は未だ未解明です。原発事故は人々の幸せを奪い去りました。

島根原発直下には、140キロもの活断層（宍道断層39キロ、鳥取沖断層98キロ）が走り、「地震の巣」状態。事故が起きたら県都消失は避けられません。

日本共産党は、電力会社やその労働組合から献金を受け取らない党です。だから「原発ゼロ」をキッパリ主張することができます。



島根半島での活断層・海岸地形調査(宍道断層39キロを認めさせることになりました)

県民の願いを届け、実現に全力

- 地震・豪雨の被災地へ直行
- 福祉、雇用、農業の守り手

昨年4月の県西部地震、夏の豪雨災害では被災地へすぐに駆けつけ、被災者の要望を国に直談判。

国保料引き下げ、介護サービス充実、子育て支援、教育の充実など議会で繰り返し要求してきました。

また、①地域に根ざした中小業者への支援、②安定した雇用と仕事をつくる、③農業を基幹産業に位置付け、食料自給率の向上なども求めてきました。



保育士・介護福祉士と県へ申し入れ



尾村
としなりの
議会活動&
実績

シャープな論戦で県議会をリード

実現した願いの一部をご紹介します

「全国トップクラス」「全国初」つぎつぎと

- 県の被災者生活再建支援に「半壊(床上浸水)」(100万円)、「一部破損(床下浸水)」(40万円)支給
全国トップクラスの制度創設
(県西部地震、豪雨災害限定)
- 生活保護世帯へのエアコン設置調査 **全国初!**
- 看護師夜勤実態調査の実施 **全国初!**
- 全国学力テストの直前対策実態調査実施 **全国初!**
- 政務活動費厳格化
(すべての領収書添付義務付け)
- 小学3年～中学3年生までの35人学級
- 福祉医療費助成の負担軽減

その他、学校へのエアコン設置、中小企業振興条例制定、青年の雇用環境改善などにも力を尽くしてきました。



政務活動費の疑惑解明を議長に要請



尾村としなりの歩んだ道

大学で学んだ安保問題で
日本共産党と出会う

1962(S37)年、大田市の農家の長男として誕生。子どもの頃から米づくり、繁殖牛の飼養を手伝う少年でした。



子どもの頃から牛の世話を

大学では法学部を専攻。侵略戦争に命をかけて反対し、国民の苦難を軽減する立党の精神に共感し、日本共産党に入党。

相談されればトコトン
つきあって解決へ

大学卒業後、松江民主商工会に勤務。税金、金融、経営相談、多重債務など中小業者の営業とくらしを守るために奮闘。



島根大学で税金問題を講義

相談者からは「命の恩人だ」など感謝の声が次々と。どんなに忙しくても、親身になって相談に乗り、解決に力を尽くしました。

若くして両親亡くし
苦労を重ねる

8年間、両親の看護を続け、命と医療の大切さを身をもって知りました。深刻な不況を反映し、様々な生活相談を受けてきました(写真)。



「政治には人の命がかかっている」が政治信条。まじめに働く人が報われる社会をつくるために全力でがんばってきました。

毎議会質問 発言力No.1

03年に初当選。唯一の野党議員として公共料金値上げ、税金のムダづかいを厳しくチェック。県議会で発言力ナンバーワンです。



道理ある論戦に
他の議員・県幹部も一目

危険な島根原発の「再稼働は許さない」と毎議会で鋭く質問。国や電力会社に対しても「原発ゼロ」こそ県民の願いであると強く主張してきました。

他党の議員や県幹部からも「共産党はスジを通している」「国に対してキッパリものが言えるのは共産党だけ」との声が寄せられています。

プロフィール

1962年大田市生まれ(56歳)▼県立大田高校、北九州市立大学法学部卒▼島根県商工団体連合会事務局長、消費税反対島根県各界連絡会事務局長など歴任▼2003年県議選初当選(現在4期目)▼現在、党県議団長、党県副委員長、松江市東津町在住。